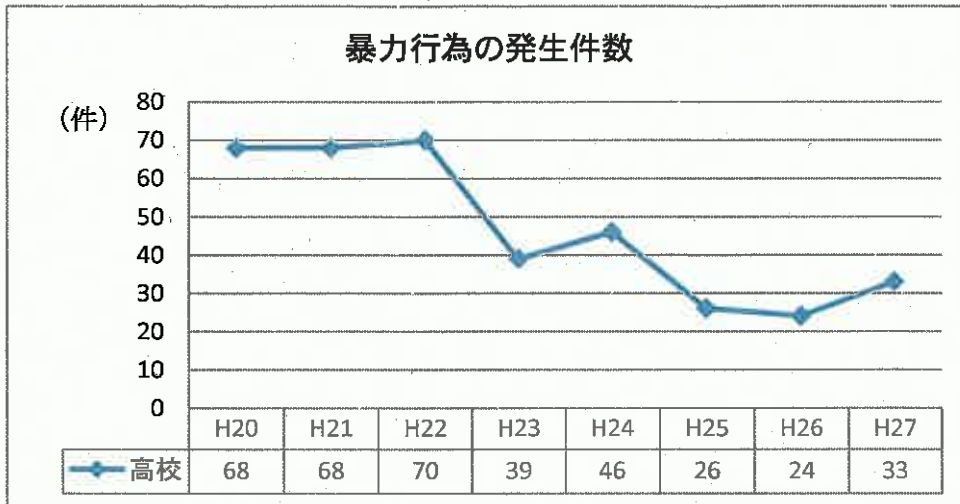


平成27年度 生徒指導上の諸問題調査の概要 高校教育課

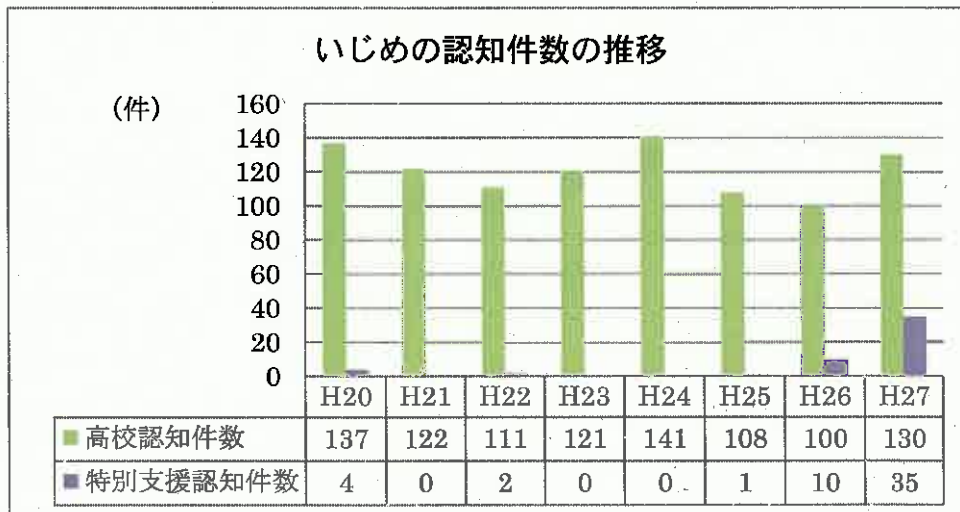
1 暴力行為の発生件数



前年度に比べ9件の増であるが、平成22年度に比較すると減少傾向。

2 いじめの認知件数

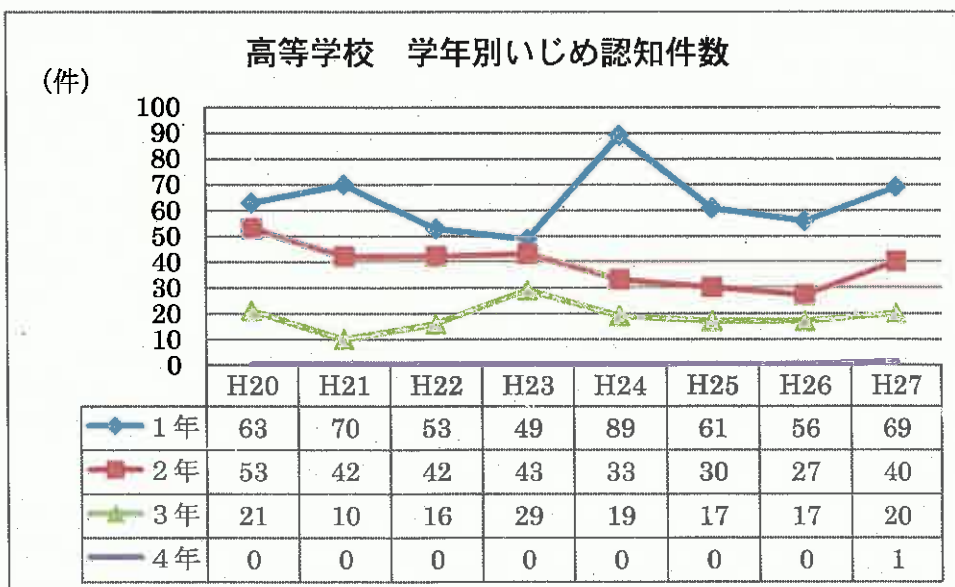
(1) 経年変化



特別支援学校で積極的認知に努めており増加傾向。いじめの認知に関して理解が進んできた。

(参考 H23.10 大津のいじめ事件、H25.9 いじめ防止対策推進法)

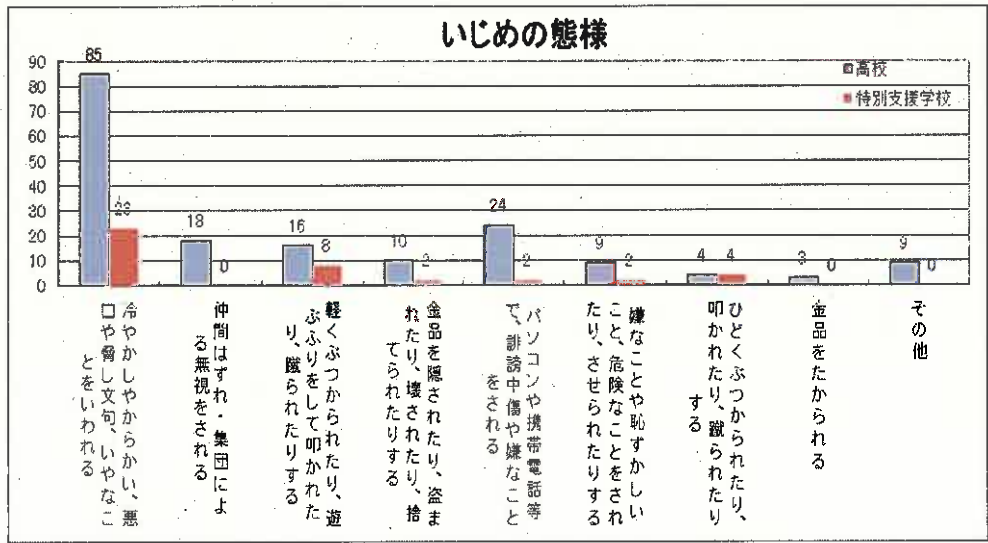
(2) 学年別



学年が上がるとともに減少する状況は変わらない。

高校では広範囲な中学校から集まるため、1年生は人間関係の構築に苦労していると考えられる。

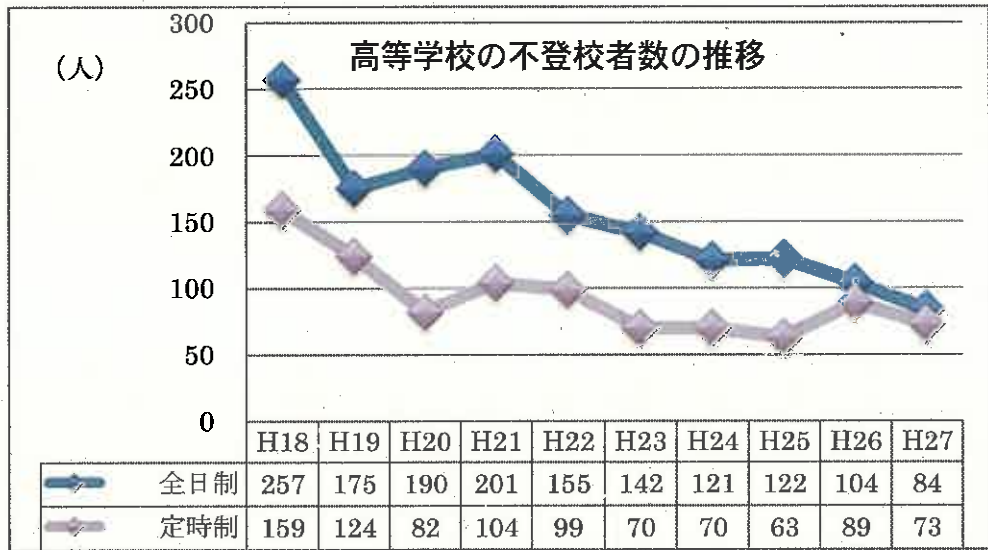
(3) いじめの態様



高校では、パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされるが2番目に多い状況。(ただし、割合は全国とほぼ同じ。)

3 不登校者数

(1) 経年変化

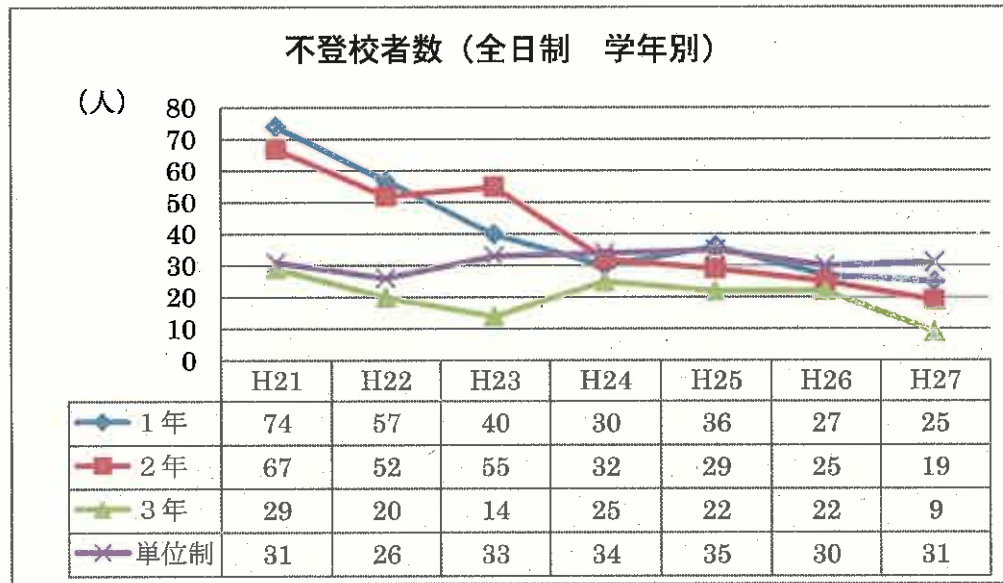


経年変化をみると減少傾向にある。SCの配置、SC・SSWの派遣、養護教諭の複数配置等、教育相談体制の整備が成果を上げていると考えられる。

全日制 84人 (内90日以上欠席が10人、内出席日数10日以下が3人、内出席日数0日が2人)

定時制 73人 (内90日以上欠席が2人、内出席日数10日以下が0人、内出席日数0日が0人)

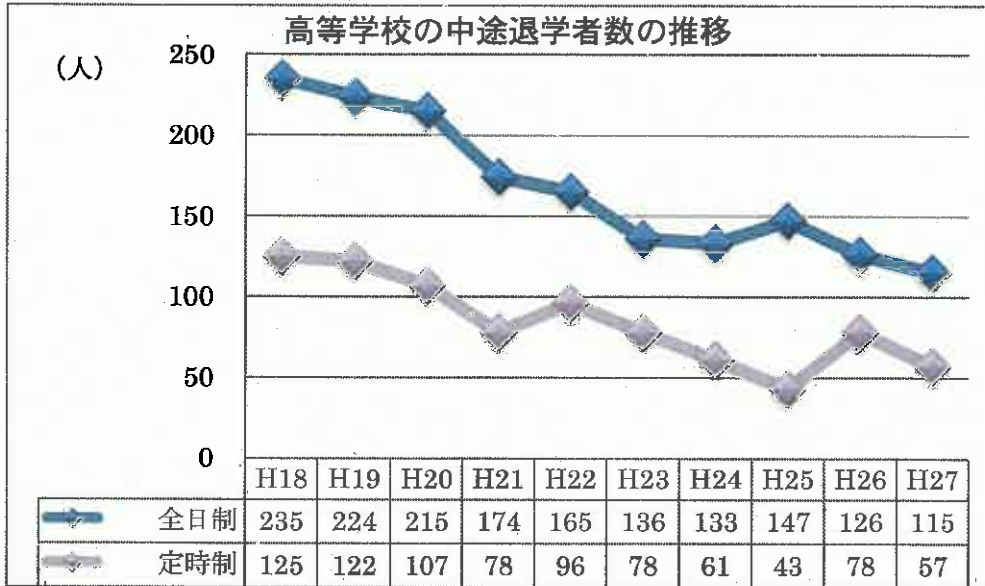
(2) 学年別



1、2年生で多い傾向が続いているが、その数は減少している。

4 中途退学者数

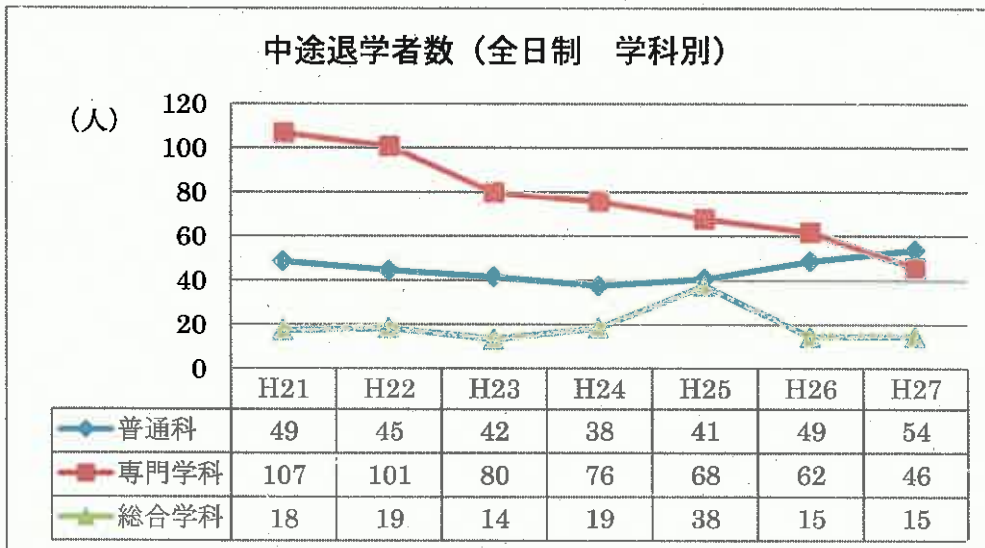
(1) 経年変化



不登校と同じく、減少傾向にある。

教育相談体制の整備が成果を上げていると考えられる。

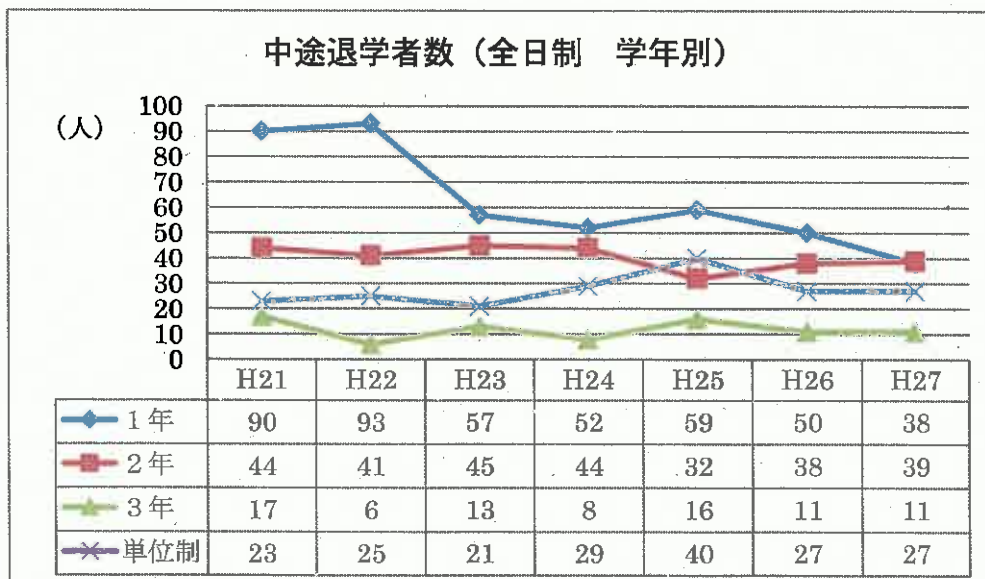
(2) 学科別



専門学科で減少傾向にあるが、目的意識を持って専門学科を選択する生徒が増えてきていると考えられる。

逆に普通科はやや増加してきている。

(3) 学年別



学年が上がるにつれて減少するが、ここ数年は1年生の中途退学者も減ってきている。

中学校と情報の共有化を図り、学校説明会・体験入学等を実施して不適應の事前防止に努めている。

